

兵庫民医連家庭医療学センター / マタニティケア・フェローシップ

募集要項

研修の概要：

家庭医として女性の健康に関する領域を深めていくと同時に、後進の育成ができる能力を身につけていく。主な研修場所は尼崎医療生協病院産婦人科。期間は原則1年間とするが選択課題によっては延長可能とする。

研修期間：

第1期 2010年4月～2011年3月

募集人数：1名

応募資格：日本家庭医療学会認定の後期研修を修了したもの、もしくはそれと同等の能力を有すると考えられるもの。

応募手続き：履歴書、医師免許証(写)、申込用紙（別紙）を下記の住所まで郵送

申し込み先：尼崎医療生協病院 研修担当事務（担当：池田）まで

〒661-0033 兵庫県尼崎市南武庫之荘12-16-1

選考方法：出願書類、面接、ポートフォリオ

処遇：

1. 身分 常勤職員
2. 給与 詳細は面談時に説明
3. 諸手当 当直手当、通勤手当、時間外手当、住宅手当など
4. 賞与 年3回
5. 休日 4週6休、有給休暇、夏期休暇、年末年始休暇など
6. 保険 社会保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、医師賠償保険など完備
7. 宿舍 あり（病院より貸与）家賃は個人負担
8. その他 学会参加 参加費、交通費、宿泊費を保障（年額の限度あり）採用された場合は引越費用を実費支給

ディレクター：尼崎医療生協病院 産婦人科部長 衣笠万里

兵庫民医連家庭医療学センター 東一、高松典子

研修個別目標：

- ・妊婦健診が実施出来る（適切に産婦人科医にコンサルトが出来る）
- ・正常分娩（助産師さんの仕事のサポート、和痛方法なども含む）が出来る（すくなくとも50件以上の正常分娩を経験する）
- ・新生児蘇生が実施できる
- ・異常分娩の経過を疑うことが出来る
- ・会陰裂傷Ⅰ～Ⅱ度の縫合処置が出来る
- ・弛緩出血に対する一般的な対応（500～1000ml）ができる。（双手圧迫法、子宮パッキングなど）
- ・母乳育児指導ができる（希望があれば国際認定母乳コンサルタントIBCLCの資格取得を）
- ・産後一ヶ月健診ができる
- ・乳癌検診
- ・子宮癌検診（経膈超音波検査も含む）が実施できる
- ・不正出血に対する一般的な年齢別対応（ホルモン治療も含む。）
- ・子宮外妊娠を疑うことが出来る
- ・妊娠初期エコー診断が出来る
- ・正常妊娠妊婦検診管理、保健指導（胎児エコー、スクリーニング）。
- ・流産手術（妊娠中絶を除く）に対応できる
- ・吸引分娩に対応できる
- ・上級医指導医下での帝王切開ができる
- ・避妊指導（OC管理、一般的な保健指導）の知識をもつ。IUD挿入ができる。
- ・更年期症状への対応（ホルモン治療、漢方、抗不安・抗うつ薬の使用、カウンセリングなど）

○選択課題

- ・子宮脱の保存的治療（ペッサリー管理）
- ・尖圭コンジローマの治療
- ・子宮頸管ポリープのポリペクトミー（ポリペク後の止血処置ができること）

○研修修了後：

- ・週に1単位程度の産婦人科外来の継続
- ・月に1、2度の産婦人科当直またはon call
- ・その他、産婦人科領域のセミナー、学会など

上記を通じて知識、技術をさらに研鑽し、同時に後進への指導にも取り組む。